

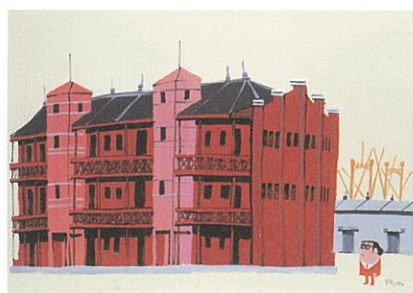
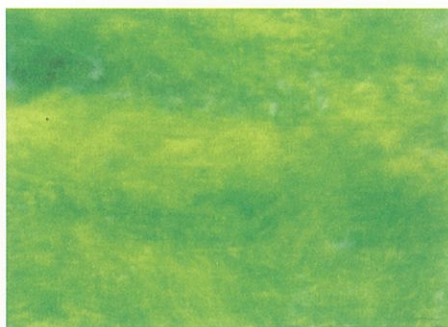
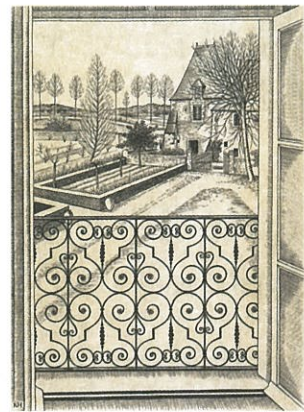
—それぞれのまなざし

風景

Yokohama Civic Art Gallery
Collection Exhibition 2016
Scenery

横浜市民ギャラリーコレクション展 2016

横浜市民ギャラリーは、1964年に開設されてから、日本の現代美術を紹介する年次の企画展や、海外姉妹友好都市との交流展、横浜にゆかりのある作家の個展など、さまざまな展覧会をおこなってきました。展覧会や作家との交流を通じて収蔵した作品は、日本画、油彩画、版画、写真、彫刻など、およそ1,300点におよびます。横浜市民ギャラリーでは年に一度「コレクション展」を開催し、所蔵作品を公開しています。本展では、「風景」をキーワードに、1940年代から1990年代に制作された作品およそ70点を展示します。風景は、美術の主題として描かれ、写されてきました。視野にとらえた自然や事物をすべて画面に写したり、現実にはない理想的・幻想的な世界を描いたり、目の前の光景を自らの印象のままに表出するなど、作家があらわす「風景」はさまざまです。本展は〈具象〉〈幻想〉〈印象〉〈日常〉の4つの章により構成し、風景表現の多様な展開を辿ります。



また特集展示として、柳原良平が描いた横浜の風景を紹介します。1978年、大通り公園の完成を記念して「ヨコハマ漫画フェスティバル」が開催されました。柳原は、このフェスティバルの中心となって漫画家やイラストレーターに出品を募りました。会場となった横浜市民ギャラリーは、出品作家32名の作品76点を所蔵しています。今回は、このうち柳原の作品全8点を展示し、横浜の名所・旧跡を巡ります。

関連イベント

- ・クロストーク「風景を撮る」
出品作品と写真家の活動についてお話しします。
出演：土田ヒロミ(写真家)、倉石信乃(明治大学教授)
日時：3月5日(土) 14:00-15:30
会場：横浜市民ギャラリー4階アトリエ
参加無料、申込不要
- ・担当学芸員によるギャラリートーク
日時：3月12日(土) 14:00-14:30
会場：横浜市民ギャラリー展示室I
参加無料、申込不要

交通アクセス

電車でのアクセス
JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分
※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。
京急「日ノ出町駅」から徒歩8分
※野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上がります。

バスでのアクセス
市営バス103系統「戸部1丁目」野毛坂から徒歩2分
市営バス89・156・292系統「野毛大通り」から徒歩7分
市営バス8・26・58・89・101・105・106系統「紅葉坂」から徒歩7分

送迎車サービス
おからだの不自由な方、高齢者に配慮した無料送迎サービスです。桜木町駅東口タクシー乗り場のタクシーを背にした付近★に送迎車が停車します。
発車時刻等は横浜市民ギャラリーのホームページをご覧ください。

駐車場
有料、予約制【予約専用 TEL 045-315-4440 (1週間前から受付)】

横浜市民ギャラリー展覧会カタログ市

会場：横浜市民ギャラリー展示室I受付
会期中、横浜市民ギャラリー開設時から2000年代にかけておこなわれた展覧会のカタログを特別販売します。現在では手に入り難い、希少な資料を購入いただける機会です。
※本展終了後、横浜市民ギャラリーでは過去の展覧会カタログの販売をおこないません。



横浜市民ギャラリー

〒220-0031 横浜市西区宮崎町 26-1
Tel. 045-315-2828 Fax. 045-315-3033 <http://ycag.yafjp.org/>

1:長谷川瀧《窓からの眺め(シャトー・ド・ヴェスヴェルの窓)》1941年 エンドレーヴィング 30.0×22.0cm / 2:秋岡美帆《そよぎ Sway》1988年 NECO、麻紙 77.0×107.0cm / 3:高松次郎《宮沢賢治「水仙月の四日」より 赤毛布の少年を封じこめる吹雪》1984年 シルタスクリーン 47.6×66.4cm ©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates / 4:土田ヒロミ《砂を数える》1981年 セラチン・シルバー・プリント 28.8×42.7cm / 5:阪本文男《標本室の通風口》1981年 油彩、キャンバス 97.1×130.5cm / 6:柳原良平《新港埠頭赤煉瓦倉庫》1978年 ポスターカラー、紙 72.2×102.5cm